

『人文学』 第1号～第120号 総目次

CONTENTS OF No.1～No.120

第1集 (1948年12月)

カントと実践哲学の問題(その1)	浜田与助	4
福祉の社会理論	竹中勝男	43
キーツ新考	矢野禾積	79

第2輯 (1949年12月)

カントと実践哲学の問題(その2 完)	浜田与助	3
法然教美術—文化史学的研究序論—	石田一良	43

第3輯 (1950年9月) [英文学研究特集]

『文学界』と西洋文学	矢野禾積	1
附録		
地獄の巻の一節	禿木	115
ベアトリチェ	ランドル作 松茶庵訳	122
Criticism of American Literature	Robert H. Grant (180)	1
ヘミングウェイの文体について	上野直蔵(161)	20

第4輯 (1951年1月) [社会学特集]

同志社社会学の建設をめざして	竹中勝男 [巻頭]	
研究		
社会学の全体的総合的对象としての全体社会 (Community—the whole integral object of sociology)—全体社会を対象とする		
社会学の樹立のために—	江藤則義	1
変動期に於ける社会の倫理	青井厚	34
論評		
社会崩壊の研究における問題	竹中勝男	77
社会主義の英国的環境	嶋田啓一郎	91

社会的行為に関する考察	橋本 真	118
海外新聞とジョセフ・ヒコ	住谷 申一	141
日本低賃銀論	中條 毅	158
資 料		
伊藤律との架空会見記	和田 洋一	172
書 評		
竹中勝男教授「社会福祉研究」 附一社会福祉の現実的限界について一	小倉 襄二	177
論 評		

Some Basic Principles of Case Work Practice

Mary F. Wood (219) 1

Some Thoughts on the Problems of Social Group Work in Japan

Jean H. Grant (195)25

社会学科・大学院社会福祉学専攻学科目表

〔巻末〕

第5輯 (1951年11月) [文化学研究特集]

「ハイデッガーのカント解釈」に就いて (その一節) —カントに於ける実践哲学の問題の一項—	浜田 与助	1
西欧美学の主要動向とその方法論的批判—『美の構造的特質』の序論の一節—	園 頼三	19
心理学者としてのアルベルツス, マグヌス	高田 武四郎	47
エウダイモニア—アリストテレス倫理学の性格—	平石 善司	62
可能と範疇	今谷 逸之助	87
教育のロゴスと真理	志賀 英雄	102
人格の表現と理解	遠藤 汪吉	116
人格研究における環境と自我	松山 義則	138
幼児期における自我意識の発達について	野辺地 正之	155

第6輯 (1952年1月) [英文学研究特集]

Chaucer's Religious View	Naozô Ueno	1
The Study of Literature	Robert H. Grant	24
所謂「中間的叙法」に就て	吉岡義陸	43

第7輯 (1952年4月) [社会学特集]

社会保障の基本的性格	嶋田啓一郎	1
社会哲学の現代的意義と課題	青井厚	28
地域社会の組織化と教育	伊藤規矩治	50
チャアネリズムの断層—特にファシズム醸成の土壤について—	住谷申一	75
高賃銀に関する一考察	中條毅	98
社会事業の客体領域について	小倉襄二	148

第8輯 (1952年12月) [英語英文学研究特集]

抑圧の意義とその効果	吉岡義陸	1
Shakespeare 英語の一特質—身体的表現について—	中村健蔵	20
シェクスピアの定冠詞	W・フランツ著 桜井忠一訳	40
英文学に於ける近代リアリズムの形成—主として小説の一—	木口敏郎	58
英文学における諷刺(1)—諷刺の性格について—	太田藤一郎	76

第9輯 (1953年1月)

鏡花縁……女天子と百才女の話……	藤林広超	1
日本、中国の治水説話	波多野鹿之助	15
西鶴の超現実	小森啓助	37

ドイツ悲劇論について	辻 本 金 治	51
『新体詩抄』に於けるテニソンの訳詩二篇	衣 笠 梅二郎	69
「エラン・ヴィタル」(élan vital) への解釈—ベルグソン理解への一齣—	西 川 良 一	91

第10輯 (1953年3月)

ギリシャ哲学とフィロン	平 石 善 司	1
先験的統覚の問題	今 谷 逸之助	15
技術の本質的構造	中 桐 大 有	31
笑と泣—その哲学的人間学的意味—	篠 田 一 人	51
教育的自覚の本質	志 賀 英 雄	66
美術における形象的なものの構造について	金 田 民 夫	83
薬師寺講堂薬師三尊様式考—薬師寺金堂及講堂薬師三尊の造像年代に就いての基礎的考察—	小 川 光 暘	99

第11輯 (1953年3月)

社会事業の基本的性格	竹 中 勝 男	1
恤救規則の背景—日本社会事業分析資料(I)—	小 倉 襄 二	18
社会的危機と道徳	青 井 厚	35
新聞逆コース論	和 田 洋 一	51
馬場辰猪の草莽性	住 谷 申 一	62

第12号 (1953年9月) [英文学研究特集]

Old English Ballads に於ける宗教的要素	児 玉 実 用	1
Eugene O'Neill の作品に於ける“Mother”	木 村 俊 夫	35
On the Source of the Pardoner's Tale	Naozō Ueno (62)	1

第13号 (1953年12月) [社会学科特集]

アメリカにおける教育社会学の沿革	伊藤 規矩治	1
佐幕派新聞の性格	住谷 申一	19
コミュニティ指導者訓練の研究	メアリ・ウッド	41

第14号 (1954年3月) [文化学科特輯]

範疇と図式性	今谷 逸之助	1
ベーコンにおける「自然的知識」の実践的意義	中桐 大有	30
青年期における性的身分 <small>セックス・ステータス</small> の意義について	野辺地 正之	46
群馬県 <small>かな</small> 神流川流域の遺跡	酒詰 仲男	59

第15号 (1954年2月) [英文学研究特集]

T. S. Eliot について—特に彼の世界像を貫くもの—	片山 春一	1
本邦に於けるシェリの詩の漢訳	衣笠 梅二郎	16
「シェクスピアの語戯」について	中村 健蔵	32
英文学における諷刺(2)—W・M・サッカレーのヒューマニズム—	太田 藤一郎	53

第16号 (1954年9月) [社会学科特集]

原子力時代における社会学の諸傾向—社会哲学的傾向を中心として—	青井 厚	1
「下層社会」の形成—社会事業対象論の課題として— 一日本社会事業分析資料(Ⅱ)—	小倉 襄二	24
行動規準と逸脱行動	井垣 章二	45
「文化」の概念—C・クラックホーンを中心として—	八田 良太郎	72

第17輯 (1955年2月) [文化学科特輯]

全ペスタロッチの発見とゲーテの「ファウスト」	志賀英雄	1
シラーの芸術論	金田民夫	30
ニーバーの「皮肉」について	オーテス・ケリー	53

第18輯 (1955年2月) [英文学研究特集]

D. G. Rossetti の作品に見られる芸術性について(1)—The House of Life を中心として—	児玉実用	1
ホイットマンの「考察—ソウルをめぐって—」	木口敏郎	19
シナリオに現れた Interjections of Surprise に就いて	吉田隆章	41
Eugene O'Neill の作品に現れた「白く塗りたる墓」	木村俊夫	61
「カムプベル氏英国海軍の詩」前後	衣笠梅二郎	75

第19号 (1955年8月) [社会学科特集]

農村窮乏化と協同組合運動	嶋田啓一郎	1
修正派マルクス主義と労働組合—ベルンシュタイン主義の批判的考察—	中條毅	24
生活保護法の基本原理とケース・ワーカー—公的扶助におけるケース・ワーク I—	大塚達雄	72
医療保障と結核問題—1954年度における入退院基準・看護制限反対をめぐる日本患者同盟の運動を中心として—	小倉襄二	94

第20号 (1955年10月) [文化学科特輯]

アメリカ教育学の動向	吉川哲太郎	1
「理論物理学」解釈の問題(1)	中桐大有	21
シラーの芸術論(承前)	金田民夫	43

仁齋学の形成過程—青壮年時代の仁齋の思想と環境—

石田 一 良 67

第21号 (1956年1月)

ヴィクトル・ユゴーとスピリティズム (日本フランス文学会総会研究発表に於ける質疑応答への反省と補遺)	店村新次	1
カフカの Indiskretion—存在論的解釈の試み—	土肥美夫	25
ゴーリキの初期の作品について	末包丈夫	38
ギリシャ文学におけるオレステースの救済	松本仁助	53
白話文運動とその時代	大原信一	82

後記

〔巻末〕

第22号 (1956年2月) [英文学研究特集]

The Religious View of Chaucer in His Italian Period (1)

Naozô Ueno 1

Lectures on Shakespeare (1) Lindley Williams Hubbell 51

第23号 (1956年3月) [社会学科特集]

新聞読者の受働性と能働性	和田洋一	1
「ざんぼう律」前後	住谷申一	17
イギリスにおける新聞の独占	小林栄一	33
調査票作成における諸問題—社会調査の基本過程—	井垣章二	55

第24号 (1956年4月) [文化学科特輯]

シラーの芸術論 (承前)	金田民夫	1
「理論物理学」解釈の問題(2)	中桐大有	33
貝塚資料より見たる樺太の文化とその概観	酒詰仲男	53

内村の決断の夏—1885年—新島・内村の住復書簡にあらわれた近代 日本思想史の一断面—	オーテス・ケーリ	95
--	----------	----

第25号 (1956年6月) [英語英文学研究特集]

Spenser: The Faerie Queene, Book I に於ける Catholic Symbols	齋藤 勇	1
現代英語の「格」に就いて	渥美 正平	29
D. G. Rossetti の作品に見られる芸術性について(2)—The House of Life を中心として—	児玉 実用	57

第26号 (1956年11月)

父と子—カフカ的世界の解明のために—	早崎 良久	1
ベルナル・ディアス・デル・カスティリョについて	大島 正	15
ヴォルテールの小説に関する一考察	竹園 了元	29
バルザックの「幻滅」について	原 政夫	47
嫦娥はなぜ月へにげたか—「奔月」にえがかれた魯迅の自画像—	吉田 恵	63

同志社大学フランス文学研究会記録 昭和29年度~昭和31年度 [巻末]

第27号 (1956年11月) [文化学科特集]

宗教の人格の実験的一考察— ^{ゴディ・スウェーイ} 身体動揺テストを使用して被暗示性を みる—	野辺地 正之 堀内 治世	1
動因と動因刺激(1)—苦痛動因—	松山 義則	15
シラーの芸術論(承前)	金田 民夫	33
アメリカ教育学の動向(承前)	吉川 哲太郎	67
「理論物理学」解釈の問題(3)(完)	中桐 大有	89

第28号 (1956年11月) [社会学科特集]

ユーゴスラヴィアの社会主義—チトー大統領との会談をめぐりて—	嶋田啓一郎	1
進歩論考	青井厚	29
生活保護適用過程におけるインターク—公的扶助におけるケースワ ークII—	大塚達雄	47
文化の総合的研究—特に様相的把握に関して—	八田良太郎	79
人文学—社会学科特集—総目次		113

第29号 (1957年4月) [文化学科特集]

スピードの系譜	酒詰仲男	1
動因と動因刺激(2)—恐怖動因—	松山義則	17
マイステル・エックハルトの“Questions Parisiennes”の翻訳並 びに研究(3)	高田武四郎	37
シラーの芸術論(承前)	金田民夫	57
人文学—文化学科特集—総目次		71

第30号 (1957年6月) [社会学科特集]

現代日本家族の社会的構造について	伊藤規矩治	1
馬場辰猪年譜について=主として日本修学時代を中心に=	住谷申一	21
「窮乏」の現実態について—公的扶助と低所得階層—	小倉襄二	35
ホーレス・グリーンリーと南北戦争	小林栄一	65
紹介・書評		
「村落共同体」研究の新刊から	松本通晴	87
人文学—社会学科特集—総目次		97

第 31 号 (1957年11月)

ユゴー詩篇に見る対句的表現の研究(1) (Parallélisme idéo-grammatical dans les oeuvres de V. Hugo: 1)	店村新次	1
プルウストの円	湯浅由郎	23
ゲーテの「イフィゲーニエ」における劇構成とオレストの治癒	松本仁助	39
カフカの「希望」について—「アメリカ」の解釈をめぐって—	土肥美夫	57
ゴーゴリの晩年—ゴーゴリの苦悩	末包丈夫	69
中国の文字改革	大原信一	83
後記		[巻末]

第 32, 33 合併号 (1957年12月) [英文学研究特集]

The Religious View of Chaucer in His Italian Period (2)	Naozô Ueno	1
Lectures on Shakespeare (2)	Lindley Williams Hubbell	97

第 34 号 (1958年 3月) [社会学科特集]

「政務部」設置への道標	住谷申一	1
観察者と被観察者との間—面接におけるラポールの問題—	井垣章二	19
オスワルト・シュペングラー(1)	八田良太郎	45
紹介・書評		
資本主義体制とマス・コミュニケーション 生田正輝「マス・コミュニケーションの諸問題」をめぐって	山本明	81
人文学—社会学科特集—総目次		96

第 35 号 (1958年 5月) [英語英文学研究特集]

D. G. Rossetti の “One Dream Alone” について		
---	--	--

	児玉実用	1
エリオットの遊びの詩— Old Possum's Book of Practical Cats について—	北垣宗治	17
Stephen Crane の小説について—アメリカ・ナチュラリズムの一 側面	松山信直	59
『小学唱歌集』と英詩翻案	衣笠梅二郎	111

第36号 (1958年7月) [社会学科特集]

オートメーションと労働者構成・労働条件の変化	中条毅	1
肢体不自由児育成に関する一考察—肢体不自由児キャンプとケース ワーク—	大塚達雄	24
アメリカにおける村落研究の方向(上)—C・P・ルーマイスとR・レ ッドフィールドを中心として—	松本通晴	52
資料		
「人道」—家庭学校雑誌—について—慈善事業思想における留岡幸 助とその周辺—[1]	小倉襄二	77
書評		
William Randolph Hearst, A New Appraisal, by John K. Winkler	小林栄一	92
人文学—社会学科特集—総目次		96

第37号 (1958年7月) [文化学科特集]

日本石器時代のテツボラ (Thais) 類について	酒詰仲男	1
行為退行の歴史的研究	松山義則	21
ベルグソンの自由論(1)	片山寿昭	38

第38号 (1958年11月)

トーマス・マン文学の焦点	辻本金治	1
ホーフマンスタールの抒情劇とその背景—ビーダーマイアー時代—		

	武田 鉄五郎	19
ベル文学の出発点—処女作「汽車は遅れなかった」をめぐって—	早崎 良久	31
ユイスマンスのエディプス・コンプレックスについて	竹園 了元	44
バルザック「人間喜劇」の青年	原 政夫	57
ロルカの詩における隠喩	大島 正	80
魯迅と白話文運動	大原 信一	103
春秋戦国時代の哲学書における方言—「論語」と「墨子」の場合—	吉田 恵	118

第39号 (1958年12月) [社会学科特集]

ギンズバークの社会哲学思想の展開	青井 厚	1
東京珍聞と獄中新聞—成島柳北の手書新聞覚え書—	住谷 申一	19
ハーストのジャーナリズム	小林 栄一	34
施設児の生活と環境—I 養護施設における探索的研究—	井垣 章二	50

書評

黒木利克著「日本社会事業現代化論」—発想と方法について	小倉 襄二	93
-----------------------------	-------	----

第40号 (1959年1月) [英文学研究特集]

Shakespeare's Histories	Lindley Williams Hubbell	2
Morality and American Literature	Robert H. Grant	69

第41号 (1959年2月) [文化学科特集]

美的現実の問題—ハイデガーとベッカーを中心として—	金田 民夫	1
---------------------------	-------	---

デューイ教育学の批判文献考(1)—デューイの虚無主義—	吉川 哲太郎	19
時間条件形成と試行間反応について	松山 義則	43
北海道地方貝塚地名表	酒詰 仲男	57

第42号 (1959年5月) [社会学科特集]

社会福祉における国際性と地域性—第9回国際社会事業会議に学ぶ—	嶋田 啓一郎	1
保護開始における調査過程—公的扶助におけるケースワークⅢ	大塚 達雄	20
アメリカにおける村落研究の方向(下)—C・P・ルミスとR・レッドフィールドを中心として—	松本 通晴	61
歴史的変動における規定因素としての社会構造—日本の工業化に寄与した社会構造の特質について—	橋本 真	89
紹介・書評		
Elihu Katz and Paul F. Lazarsfeld Parsonal Influence The Part Played by People in the Flow of Mass Communications		
—主としてその調査法との関連において—	井垣 章二	109
A Study of Voluntary Group Participation of Doshisha Students		
Mary F. Wood(140)1		

第43号 (1959年7月) [英語英文学研究特集]

ニュー・クリティシズムとコールリッジの批評精神	岡本 昌夫	1
イギリス小説史上における W. M. Thackeray の社会的意識について	太田 藤一郎	18
Ancrene Riwe における「愛」—その歴史的背景	斎藤 勇	45

第44号 (1959年10月) [外国語・文学研究特集]—独・仏・
西・露・中—

現代中国語の語彙と文体の変遷に関する一考察	大原 信 一	1
魯迅と中国文芸の伝統—「故事新編」についての手控え—		
	吉 田 恵	14
トルストイとツルゲーネフの間	末 包 丈 夫	32
メキシコ近代詩における俳句の影響	大 島 正	47
散文芸術の変貌(1)—1910年前後のドイツ文学を中心に—		
	土 肥 美 夫	63
ドイツ戦後文学序論	早 崎 良 久	79
プルウストとベルグソン	湯 浅 由 郎	95

第45号 (1959年12月) [文化学科特集]

本邦石器時代のキサゴ類 Umbonidae に就て	酒 詰 伸 男	1
ロールシャッハカードの瞬間露出呈示による知覚過程の分析		
	堀 内 治 世	11
書記タスクを用いての休憩前練習の分散効果とレミニッセンス		
	秋 田 清	32
日本におけるデュエイ教育学研究(2)	森 章 博	60

第46号 (1960年2月) [社会学科特集]

故竹中勝男博士追悼記念号

[写真] 故竹中勝男博士		[巻頭]
故竹中勝男博士略歴		[巻頭]
故竹中勝男博士筆蹟		[巻頭]
あいさつの言葉	和 田 洋 一	1
転換期の社会福祉理論—竹中勝男『社会福祉研究』を中心として		
	嶋 田 啓 一 郎	3
もう一つの機関を—社会福祉概念の拡大—	伊 藤 規 矩 治	25

ギンズバーグの社会変動論	青井厚	42
「こがね丸」論争によせて—竹中先生の家系と鮫谷小波—		
	住谷申一	56
社会事業調査の課題	井垣章二	69
現代むら意識に関するノート—主として共同体の視角—		
	松本通晴	89
オスワルト・シュペングラー(2)	八田良太郎	103
「商業新聞」の基本的矛盾	山本明	118
資料		
東独カアル・マルクス大学の新聞学部	和田洋一	139
社会福祉における学生ヴォランティアの訓練—京都YMCA肢体不 自由児サーヴィス・グループを中心として—	大塚達雄	144
書評		
ウィルバー・シュラム著、崎山正毅訳 マス・コミュニケーション と社会的責任	小林栄一	168
竹内愛二著「専門社会事業研究」	住谷馨	171
故竹中勝男博士著作目録	小倉襄二編	174

第47号 (1960年3月) [文化学科特集]

岩波小辞典「哲学」と岩波アカデミズム	志賀英雄	1
経験科学における理論語の意味	中桐大有	27
人間における内的なものについて—人間学序論より—		
	篠田一人	51
ベルグソンの自由論(2)	片山寿昭	70
カントとピエティスムス	川島秀一	88

第48号 (1960年7月) [英文学研究特集]

Shakespeare and Classic Drama (1)	Lindley Williams Hubbell	1
-----------------------------------	--------------------------	---

Ben Jonson の Masque についての管見	桜井 忠一	89
Whitman の一考察—彼の神秘性と科学性—	木口 敏郎	115

第49号 (1960年9月) [外国文学・語学研究特集] 一独・
仏・西・露・中—

「西訳古今名句選」考	大島 正	1
<i>Huasipungo</i> における特殊語法	高見 英一	22
ユゴー詩篇に見る対句的表現の研究(2)—Auguste Rochette のエス プリ論における誤謬・その他—	店村 新次	38
アランのスタンダール, バルザック観—紹介と批判—	原 政夫	52
悲劇の根柢について	辻 本金治	71
クレーマー・パドローニの世界—ドイツ戦後精神の一考察として—	早崎 守俊	90
ゼーガースの初期の作品について—民衆蜂起の描写を中心に—	長橋 芙美子	102
「老子」における「道」の概念	吉田 恵	117

第50号 (1960年10月) [社会学科特集]

論 説

日本の新聞学と即日性	和田 洋一	1
国民年金論—その問題点の検討を中心として—	嶋田 啓一郎	14
静岡事件と大務新聞	住谷 申一	44

資 料

調査不能部分に関する考察	井垣 章二	53
1950年新聞・放送レッド・ページ覚え書	山本 明	64

書 評

樺俊雄 阿閉吉男編「社会学概論」	青井 厚	88
------------------	------	----

第51号 (1961年1月) [文化学科特集]

日本におけるデューイ教育学研究(4)	森 章 博	1
ロールシャッハ・カードの瞬間露出呈示による知覚過程の研究	堀 内 治 世	29
アンダウッドの言語学習における「分散練習の研究」	秋 田 清	49
文化財をめぐる諸問題について	酒 詰 仲 男	84
セクショナリズムと諸教会—アメリカのディノミネーションリズム—	大 下 尚 一	100

第52号 (1961年6月) [文化学科特集]

ルネッサンス期の科学的思考革命	中 桐 大 有	1
近世的職業人の思想と生活—涅槃・羅山の場合—	今 中 寛 司	20
『社会科学と自然科学文献の書誌学的考察と主として米国書誌の注解』	吉 田 貞 夫	40
情緒条件形成における疑点について	松 山 義 則	60

第53号 (1961年6月) [社会学科特集]

論 説

保育所問題の実証と論理—保育労働を中心として—	小 倉 襄 二	1
シュペングラーとテンニエス	八 田 良 太 郎	20
わが国におけるケースワーク機能の境界領域の一考察	住 谷 馨	40

紹 介

Morris Fritz Mayer A Guide for Child-care Workers—施設と 収容児童の取扱いにかんする研究—	井 垣 章 二	58
---	---------	----

書 評

新聞前史への道標—小野秀雄著「かわら版物語」によせて	住 谷 申 一	61
----------------------------	---------	----

チャールズ・R・ライト 小林栄一訳「マス・コミュニケーションの理論」	山本 明	64
1960年度社会学科研究室彙報		67

第54号 (1961年7月) [外国文学・語学研究特集] 一独・
仏・西・露・中一

ユゴー短篇「クロード・グー」について—作中人物とそのモデル—	店村新次	1
ラ・ブリュイエールの文学史的位罫—『レ・カラクテール』におけるポルトレの発展を中心に—	吉川 浩	18
散文芸術の変貌(承前)—世紀転換期のドイツ文学を中心に—	土肥美夫	34
ゲーテの少年童話「新パリス」	松本仁助	48
現代劇における新しい古典主義—F・ホッホヴェルダの「神聖な実験」について—	近藤公一	65
トルストイと老子	末包丈夫	80
『舶来すみれ』の成立 研究ノート	大島 正	94
中国の大学と外国語教育	大原信一	109
「物」という単語についての覚え書き	吉田 恵	120

第55号 (1961年12月) [英米文学研究特集]

Hemingway's View of Life	Robert H. Grant	1
Shakespeare and Classic Drama (2)	Lindley Williams Hubbell	25
中世詩 <i>Pearl</i> の意味—その異端説をめぐって—	斎藤 勇	103
F. S. Fitzgerald 論—方法に関する問題点を中心として—	松山信直	145

第56号 (1962年3月) [文化学科特集]

水と先史考古学	酒 詰 仲 男	1
第二マケドニア戦争と「ギリシアの自由」	浅 香 正	16
セクショナリズムと諸教会(其の2) —アメリカのディノミネーション ナリズム—	大 下 尚 一	43
近世諸国蓮門精舎の自伝的開創年代とその地域的分布(1)	竹 田 聰 州	67

[Synopses]

(112)i

第57号 (1962年3月) [社会学科特集]

論 説

専門社会事業の問題点—日本ソシアル・ワーカー協会の育成のため に—	嶋 田 啓一郎	1
東独脱出者に関する新聞の報道について	和 田 洋 一	30
日本社会学史の一齣(Ⅰ)—明治期における同志社出身者の社会学界 における活動—	青 井 厚	44
資 料		
National Assistance について—英国の公的扶助—(Ⅰ)	小 倉 襄 二	59

紹 介

イギリス農村地域社会のモノグラフ—主として実態調査報告の比較 検討—	松 本 通 晴	74
1961年度社会学科研究室彙報		82

第58号 (1962年3月) [外国文学・語学研究特集] 一独・
仏・西・露・中—

今日のリアリズムのためにⅡ—ドイツのプロレタリア・革命文学に おける党派性の問題(その1)—	長 橋 葵美子	1
現代劇の室内装飾師—ホッホヴェルダ—について(2)—		

	近藤公一	22
ユゴーにおける法外者—「グロード・グー」の意義—		
	店村新次	37
女の愛とその破綻—『人間喜劇』のヒロインたち—		
	沢田 閏	52
『ドン・セグンド・ソンプラ』と自然	高見英一	66
資料		
「孟子」のなかの「物」という名詞	吉田 恵	80

第59号 (1962年7月) [文化学科特集]

心理学の方法に関する行動主義学説	中桐大有	1
自我の変化について(3)—脅威に関する考察・その1—		
	野辺地 正之	18
ロールシャッハカードにおける象徴的意味について		
	堀内 治世	37
埼玉県真福寺貝塚第二地点第一号住居址について	酒 詰 伸 男	63
近世諸国蓮門精舎の自伝的開創年代とその地域的分布(2)		
	竹田 聰州	85

[Synopses] (120)

第60号 (1962年7月) [英語英文学研究特集]

The Peregrination of Glenway Wescott —From Regionalism to Cosmopolitanism—	Takeyoshi Kida	1
The Emperor Jones と Macbeth	木村俊夫	21
イギリス文芸批評に於ける想像力説の伝統 その形成と継承(その1)	岡本昌夫	32
平田禿木「薄命記」の全貌	衣笠 梅二郎	83
Synopses		105

第 61 号 (1962年 7 月) [社会学科特集]

論 説

- 「謝海新聞」について—宮津藩主 本庄宗武の戯作的側面—
住 谷 申 一 1
- イデオロギーとしてのジャーナリズム—マス・コミュニケーション
のイデオロギー認識のために— 山 本 明 25
- 社会構造分析のための概念図式としての型の変数について
橋 本 真 45

書 評

- 森喜一著「日本労働者階級状態史」 小 倉 襄 二 69
- Richard A. Cloward & Lloyd E. Ohlsh
Delinquency and Opportunity: A Theory of Delinquent Gangs
—非行問題研究におけるアノミー論の展開— 井 垣 章 二 72
- 1962年度前期社会学科研究室彙報 79

第 62 号 (1962年12月) [文化学科特集]

- ベルグソンの自由論(3) 片 山 寿 昭 1
- 全ペスタロッチーを支配する真理 志 賀 英 雄 13
- 自我の変化について(4)—脅威に関する考察・その 2—
野辺地 正 之 32
- 要求水準を規定する要因—相違した実験手続(作業制限法対時間制
限法)の比較— 秋 田 清 61
- 千葉県余山貝塚発掘調査概報(前篇) 酒 詰 仲 男 88
- 近世諸国蓮門精舎の自伝的開創年代とその地域的分布(3)
竹 田 聰 州 107
- 北野天神根本縁起の基礎的研究(1) 笠 井 昌 昭 115

[Synopses]

(150) i

第63号 (1962年12月) [外国語・文学研究特集]—独・仏・
西・露・中—

ガルシア・ロルカの詩・文における日本の投影	大島 正	1
ユゴー詩篇に見る対句的表現の研究(3)(Vers antithétiques symétriques について)	店村 新次	17
フランス象徴派の詩的心象世界管見—ネルヴァル・ボードレール・ランボー・マラルメを中心に	井上 二郎	41
散文芸術の変貌(承前)	土肥 美夫	66
ゲーテの「ナウジカア」断片—「オデュッセイア」との関係において—	岡 道男	84
研究ノート		
文型練習をめぐる諸問題	大原 信一	100

第64号 (1963年3月) [英語英文学研究特集]

Emily Dickinson の思想の変化過程—“Death” より “Immortality” へ—	岩山 太次郎	1
Edward Taylor の詩・序論	秋山 健	27
Yeats の “Supernatural Songs” をめぐって(その1)	小林 万治	45
イギリス文芸批評に於ける想像力説の伝統(その2)	岡本 昌夫	63
[Synopsés]		99
旧号目次 (Contents of Back Numbers)		105

第65号 (1963年3月) [外国語・文学研究特集]—独・仏・
西・露・中—

晩清の国語改革	大原 信一	1
初期のドストエフスキー—ペリンスキーの影響—	末包 丈夫	19

現代のパロック劇—ホッホヴェルダ—について(3)—	近藤 公一	34
トーマス・マンとチューホフ	土田 修代	51
美術批評家ユイスマンス(I)—クールベ批評をめぐって—	竹園 了元	64
ユゴー叙事詩篇「眠れるボアズ」研究(対句研究試論の適用による分析)	店村 新次	74

第66号 (1963年3月) [社会学科特集]

論 説

ドイツにおける初期ロマン派のイデオロギー(I)—後進国のイデオロギー—	八田 良太郎	1
「社会福祉対象論」の構成—「疎外論」によるノート—	小倉 襄二	22
“ケースワーク・プロセスにおける主体と、その後進性について”	住谷 馨	41
労働者福祉と労務管理	中条 毅	61
社会構造とパーソナリティ—とくに官僚制組織における場合—	橋本 真	86

書 評

検閲と精神的自由にかんする二つの文献 * Versions of Censorship, An Anthology. Edited by John McCormick & Mairi MacInnes, 1961.		
* 清水英夫「良心・思想および言論の自由」	山本 明	105
「日本村落」の研究覚え書—Richard K. Beardsley, et al., <i>Village Japan</i> , 1959. の検討を中心に—	松本 通晴	110
1962年度後期社会学科研究室彙報		121

第67号 (1963年11月) [英語英文学研究特集]

On the Three Biblical Quotations in the Pardon Scene of Piers the Plowman	Isamu Saito	1
十九世紀イギリス小説の Setting について (その1)	太田 藤一郎	23
Virginia Woolf と小説の構成について (Virginia Woolf and the Narrative Construction of Fiction)	戸川 晴之	44
「D. G. ロセッチと J. キーツ」小論 (D. G. Rossetti and J. Keats)	児玉 実用	62
リップ・ヴァン・ウィンクルの渡来と浦島太郎をめぐる (Rip Van Winkle and Urashima-Taro)	衣笠 梅二郎	76
Synopses		90

第68号 (1963年12月) [社会学科特集]

論 説

福利厚生施設の課題—地域社会, 西陣の近代化によせて—	中 条 毅	1
少年非行における「貧困」概念の再検討について	井 垣 章 二	39
ドイツにおける初期ロマン派のイデオロギー(2)—現実疎外の世界観 的論理—	八 田 良太郎	67

資 料

朝日訴訟の争点—(1)—	小 倉 襄 二	100
山田宗陸氏の「テレビ時代の認識論」についての研究ノート	辻 村 一 郎	113
研究室彙報 (1963年度前期)		121

第69号 (1964年2月) [外国語・外国文学研究特集 11]—
独・仏・西・露・中—

B. プレヒトの教育劇「例外と原則」	近 藤 公 一	1
--------------------	---------	---

ゲーテの「アキレーイス」—「イーリアス」との関係において—	岡道男	18
ドイツ語におけるアクセント及び声門破裂音の音素論的分析	谷島光夫	37
Gérard de Nerval の《Les Chimères》研究(1)—その解明のための試論—	井上二郎	46
「大衆語」論争と共通語の問題	大原信一	68

第70号 (1964年2月) [文化学科特集]

うつ病の心理学的測定	堀内治世	1
日本の一大学学生の民族感情	秋田清	28
美的自然概念の成立—序論—	金田民夫	48
東と西—人と環境に続けて—	酒詰仲男	60
北野天神根本縁起の基礎的研究(2)	笠井昌昭	77
近世諸国蓮門精舎の自伝的開創年代とその地域的分布(4)	竹田聰洲	88

[Synopses] (130) i

第71号 (1964年3月) [英語英文学研究特集]

Saul Bellow の <i>The Victim</i> と Bernard Malamud の <i>The Assis- lant</i> における Jewish Problem—小説の素材とその意義—	岩山太次郎	1
S・アングスと J・D・サリンジャー	那須頼雅	21
W・S・モームの不可知論	宮井敏	35
十九世紀イギリス小説の Setting について(2) (The Setting of the English Novels in the Nineteenth Century(2))	太田藤一郎	50

[Synopses] 71

第72号 (1964年2月) [外国語・外国文学研究特集(2)]—
独・仏・西・露・中—

Gérard de Nerval の《Les Chimères》研究(2)—その解明のための試論—	井上二郎	1
スタンダールの小説論	島田尚一	26
ゲーテの「プロメトイス」覚書 其1 試作構想の背景	岸 繁一	42
Hermann Broch論(その2)「全体主義と全体小説」(上)	山口知三	59
オデュッセウスの「配慮」—「オデュッセイア」23歌117—72にたいする—考察—	松本仁助	82

第73号 (1964年5月) [社会学科特集]

論 説

天橋義塾と沢辺正修—とくに明治十三年を中心に—	住谷申一	1
十九世紀英国における社会福祉活動—社会福祉概念の歴史的発展— その1—	嶋田啓一郎	24
労使関係と労務管理—Industrial Relations の体系—	中条 毅	62
コミュニティ・オーガニゼーション・ワークの機能領域について	住谷 馨	78

資 料

同和地区改良住宅事業の実態調査—三条地区入居者の事例研究— 部落福祉研究グループ		97
朝日訴訟の争点—(II)—	小倉 襄二	136
新聞の自由と山陽新聞事件裁判—事実の報道とプレス・キャンペーンとの関連を中心に—	山本 明	148

紹 介

Michael Harrington The Other America; Poverty In The United States —現代アメリカの底辺—	井 垣 章 二	164
--	---------	-----

1963年後期社会学科研究室彙報		167
------------------	--	-----

第74号 (1964年7月) [文化学科特集]

観光について	酒 詰 仲 男	1
北野天神根本縁起の基礎的研究(2)ノ2	笠 井 昌 昭	15
試行間反応の自発性と道具性についての試論	松 山 義 則	27
E S スケールの構成妥当性に関する研究	堀 内 治 世	41
日本語二音節の無連想価と有意味度	秋 田 清	57

[Synopsis] (116) i

第75号 (1964年7月) [英語英文学研究特集]

<i>Tess</i> についての一考察—三人のテス—	赤 木 雅 吾	1
消滅への関心—孤独—人間の限界 “Robert Frost の抒情詩の特質”	岩 山 太次郎	26
Pastoralism in Pope's Windsor Forest	Yasuo Iwasaki	44
Hawthorne's The House of the Seven Gables and Nature —An Interpretation—	Nobunao Matsuyama	58
Synopses		91

第76号 (1965年3月) [文化学科特集]

因果性分析(上)	中 桐 大 有	1
デューイの教育人間学について	吉 川 哲太郎	20
ドキュメンテーションに於ける自動抄録の諸問題	吉 田 貞 夫	35
自我観念の安定性と適応に関する一考察	野辺地 正 之	51
実験コンフリクトにおける相対強度と絶対強度—ストゥループテスト材料を用いて—	堀 内 治 世	64

作業能率における陰イオンの効果 秋田 清 80

[Synopses] (100) i

第77号 (1964年11月) [英語英文学研究特集21]

A Study of the Pardon Scene of Piers the Plowman(I)	Isamu Saito	1
ナルヴィルとキリスト教	谷木 泰三	57
ヘミングウェイと戦争	清水 裕	72
文学と経済	飯倉 亀太郎	95
Synopses		113

第78号 (1964年11月) [外国語・外国文学研究特集(13)]—
独・仏・西・露・中—

ゲーテの「プロメーテイス」覚書—其2 スピノザ哲学との関係—	岸 繁一	1
ドイツ語母音組織の中の e-Laute	谷島 光夫	19
「オデュッセイア」における弓競技の問題	岡 道男	32
Gérard de Nerval の《Les Chimères》研究(3)—その解明のための 試論—	井上 二郎	58
ラ・ロシュフコオの人間観	吉川 浩	83

第79号 (1965年3月) [社会学科特集]

論 説

インドにおける民族成立の問題	宮城 宏	1
最近における社会福祉諸法の制定経過	角田 豊	37
日本の労務管理の混迷	中条 毅	55
欧米社会保障制度の成立過程—社会福祉概念の歴史的発展・その2—	嶋田 啓一郎	73

資 料

犯罪容疑にかんする新聞の報道について—安達洋裁学院放火事件覚 えがき—	和田 洋一	105
--	-------	-----

書評

横浜市総務局調査室・「市民生活白書」・39—新しい横浜への展望—	小倉 襄 二	117
1964年度前期社会学科研究室彙報		124

第80号 (1965年8月) [文化学科特集]

因果性分析(中)	中 桐 大 有	1
ペスタロッチの宗教観	井 上 勝 也	21
ジョン・デューイ思想の発展に関する研究(2)—1884年から1888年ま でのミシガン時代を中心として—	森 章 博	34
人間のモチベーション研究の問題	松 山 義 則	45
TATによるコンフリクトの型の研究	浜 治 世	53
アルファベット二文字音節の無連想価と有意味度	秋 田 清	67
[Synopses]		(100) i

第81号 (1965年8月) [英語英文学研究特集22]

A Study of the Pardon Scene of <i>Piers the Plowman</i> (Ⅱ)	Isamu Saito	1
<i>Desire under the Elms</i> における対立	木 村 俊 夫	75
否定の構造としての共同存在<<Steinbeck の社会小説>>	宮 崎 郁 司	88
現代日本文学翻訳における諸問題—特に会話表現について—	本 間 賢 史 郎	106
Synopses		127

第82号 (1965年8月) [外国語・外国文学研究特集(14)—
独・仏・西・露・中—

Gérard de Nerval の《Les Chimères》研究(4)—その解明のため の試論—	井上二郎	1
美術批評家ユイスマンス(Ⅱ)—L'Art moderne を中心として—	竹園了元	40
「ローベルト・ギスカール」の諸問題	中本匡	57
不条理劇への挑戦—ホッホヴェルダーについて(4)—	近藤公一	75
ホセ・マルティの思想と行動	神代修	90
現代中国語の詞彙変化	大原信一	108

第83号 (1965年9月) [社会学科特集]

論説

社会福祉理論の米国的展開—社会福祉概念の歴史的発展・その3—	嶋田啓一郎	1
O・シュベングラの先駆者たち	八田良太郎	32
労働と余暇	中条毅	53
住友鋳工業の発展と村落の社会変動—愛媛県東予地方村落の構造的 変化の過程—	松本通晴	72

資料

民生委員の意識状況について—地域(福祉)組織化の問題として—	小倉襄二	105
--------------------------------	------	-----

書評

チェンバレン著『日本ふうのもの』 Basil Hall Chamberlain, Things Japanese, 1905	鶴見俊輔	118
---	------	-----

紹介

Alfred J. Kahn Planning Community Services for Children in Trouble—児童福祉対策への新しい道—	井垣章二	123
社会学科研究室彙報 (1964年後期, 1965年度前期)		128

第84号 (1966年1月) [外国語・外国文学研究特集(15)]

独・仏・西・露・中一

「死せる魂」について—ゴッホの思想的低迷—	末包丈夫	1
世界文学におけるドン・ホアン(I)—スペインからイタリアへ—	大島正	18
トーマス・マンの長篇小説「大公殿下」の意味	土田修代	35
「非政治的人間の省察」前史—, Betrachtungen eines Unpolitischen—	山口知三	54
「解明のための覚書(II)—	山口知三	54
プレヒトの初期の戯曲	今村孝	84
マルタン・デュ・ガールの処女作品《Devenir !》について	店村新次	107

第85号 (1966年2月) [英語英文学研究特集23]

D. G. Rossetti の詩における展開—主として形態的にみて—	児玉実用	1
O. Henry の発想と表現—ユーモアを中心に—	清水裕	24
死の陰の谷間 “A Good Man Is Hand to Find” の一解釈	北垣宗治	51
大学教養課程の英語教育における Language Laboratory の利用	渥美正平	67
英語発音指導の要点	福本一	89
Synopses		110

第86号 (1966年3月) [文化学科特集]

因果性分析(下)	中桐大有	1
モンテニョにおける苦痛と実存	片山寿昭	20
古代初期の図書館の成立と発達—アッシリア・バビロニアを中心に—	吉田貞夫	40
自我観念と目標設定行動の連関性について	野辺地正之	54

精神分裂病者における知覚の固執性—ロールシャッハ図形と反転図形を用いて—	浜 治 世	73
掛算作業における背景音の効果	秋 田 清	85
江戸時代村落の兩墓制史料(上)—丹波桑田郡山国郷比賀江村—	竹 田 聰 洲	99
芸術作品の存在性格	中 川 勝 正	120
[Synopses]		(146) i

第 87 号 (1966年 3 月) [社会学科特集]

論 説

検閲とは何か—検定の問題をも含めて—	和 田 洋 一	1
最近における社会福祉諸法の制定経過(2)(完)	角 田 豊	14
テレビ視聴行動認識の一視角—家族集団のテレビ視聴をめぐる—	北 村 日出夫	38
投票行動の研究—マス・コミュニケーション行動との関連において—	間 場 寿 一	58
総合保健活動成立の条件	小 倉 襄 二	102

資 料

同和地区を対象とする住宅地区改良事業の実態調査(続)—三条地区における地区外移転者ならびに再調査による地区内改良住宅入居者の事例研究—	部落福祉研究グループ	120
社会学科研究室彙報 (1965年度後期)		165

第 88 号 (1966年 4 月) [英語英文学研究特集24]

<i>The Canterbury Tales</i> における Miller と Reeve との口論—動機と復讐をめぐる—	滝 本 二 郎	1
<i>An Epistle to Dr. Arbuthnot</i> の諷刺—無と充足の対比—	岩 崎 泰 男	30
<i>Vanity Fair</i> —女性ピカロとしての Becky Sharp—	太 田 藤 一 郎	45

Dickens の自然憧憬—初期のセンチメンタリズムに関連して—	松村昌厦	68
----------------------------------	------	----

Synopses		89
----------	--	----

第89号 (1966年9月) [外国語・外国文学研究特集(16)]—
独・仏・西・露・中—

„ツァラトゥストラ“における„超人“と„永劫回帰“について	梶 嘉一郎	1
世紀転換期ドイツ散文芸術へのアプローチ	土肥美夫	28
ラ・ロシュフコオのマクシムの技法	吉川 浩	49
Gérard de Nerval の《Les Chimères》研究(5)—その解明のための試論—	井上二郎	66
美術批評家ユイスマンス(Ⅲ)—Certains を中心として—	竹園了元	91
研究ノート		
ホーフマンスタールの抒情劇とヴェニス 資料	武田鉄五郎	108
道家—マスベロ著「古代中国」から—	店村新次 吉田 恵	119
Synopses		138

第90号 (1966年10月) [英語英文学研究特集25]

“Mede” と “mercede”— <i>Piers the Plowman</i> の Lady Mede の性格をめぐる—	斎藤 勇	1
Chaucer: <i>The Merchant's Tale</i> について—Exegetical Interpretation の試み—	金城盛紀	16
<i>OTHELLO</i> の悲劇性—“Not Wisely, But Too Well”—	塩尻 恭子	34
William Golding の <i>Love of the Flies</i> における寓意性について	宮井 敏	50

Four Classic Satirists	Robert N. Mooney	64
Synopses		83

第 91 号 (1966年12月) [文化学科特集]

江戸時代村落の両墓制史料(下)―丹波桑田郡山国郷比賀江村一	竹田 聰 洲	1
北野天神根本縁起の基礎的研究(3)	笠井 昌 昭	22
明治八年「官許 同志社英学校」創設の教育史上の意義	森 章 博	37
弁別コンフリクトの刺激文脈効果	松山 義 則 (122)	1
精神分裂病者の陰影知覚障害	浜 治 世 (111)	12
運動技術の歴史的展望	秋 田 清 (98)	25
Synopses		(66)57

第 92 号 (1967年 1 月) [社会学科特集]

論 説

社会保障の実質給付	角 田 豊	1
社会集団と投票行動	間 場 寿 一	24
「情報行動」試論	北 村 日出夫	43
港湾労働の近代化と港湾労働法の制定・実施―大阪港における船内 荷役を中心に―	三 塚 武 男	60
資 料		
朝日訴訟の争点―(Ⅲ)―	小 倉 襄 二	102
1966年度社会学科研究室彙報		115

第 93 号 (1967年 1 月) [英語英文学研究特集26]

<i>The Dunciad</i> について―Books I-Ⅲと BookⅣの比較―	岩 崎 泰 男	1
--	---------	---

<i>Pickwick Papers</i> における明と暗	松村昌厦	21
Hawthorne の小説における「自然」—An Introductory Comment—	松山信直	41
Mark Twain の手法と <i>Huckleberry Finn</i>	那須頼雅	70
Synopses		85
旧号目次 (Contents of Back Numbers)		93

第94号 (1967年3月) [外国語・外国文学研究特集(17)] —
独・仏・西・露・中—

「傷逝」試論	太田進	1
ヴァレリオの『現代世界考察』における「精神」の矛盾	佐藤和生	22
『征服者』の新旧両版の異同に関する覚え書	沢田 閏	37
「ニーベルンゲンの歌」におけるジーフリトの死—モチーフの分析—	岡道男	56
悲劇の諸要素—ドイツ近代文学を中心として—(Die verschiedenen Elemente der Tragik in der neueren deutschen Dichtung)	辻本金治	81
レッシング: 「エミーリア・ガロッティ」の悲劇性について	岸 繁一	106
r-Laute の発音表記について	谷島光夫	132
資料		
論衡の言語的独自性	Bernhard Karlgren 大原信一訳	147
同志社大学外国文学会彙報		183
Synopses		185

第95号 (1967年5月) [英語英文学研究特集27]

<i>Dombey and Son</i> における人間像について	浜田公一	1
Hardy の小説における人間像—mortals から immortals へ—		

	赤木雅吾	24
ジョージ・オーウェルにおける思想的転回点としてのスペイン市民戦争	宮井敏	44
Chaucer の散文における文構造	大泉昭夫	60
目的語構文とWITH変形	石黒昭博	93
Synopses		117

第96号 (1967年6月) [文化学科特集]

ルソーの哲学とその方法(上)	片山寿昭	1
精神分裂病者と神経症者の知覚発生過程—ロールシャッハ刺激を用いて—	浜治世	20
ひらがな2字音節有意味語の性状語 連想反応の出現頻度	秋田清	75
Synopses		158

第97号 (1967年7月) [社会学科特集]

論説

社会福祉と社会体制—社会科学的方法論の探究—	嶋田啓一郎	1
日本における産業社会の進路	伊藤規矩治	32
社会保障の実質給付(2)	角田豊	48

資料

「廓清会」の成立—娼娼運動史の系譜—	小倉襄二	70
欧米諸大学における社会学の研究と社会学教育の動向	青井厚(106)	1

第98号 (1967年8月) [英語英文学研究特集28]

“Textueel” と “Sentence” —中世文学研究の一方法—	斎藤勇	1
--------------------------------------	-----	---

1 <i>Henry VI</i> における登場人物の描写について	由本新	19
現代の King Lear その(1)—Jan Kott の「リア王」論—	井川ふく	49
摩擦音と破擦音について—日本語と英語の場合	岡田妙	65
Synopses		77
同志社大学英語英文学研究会		83

第99号 (1967年10月) [外国語・外国文学研究特集18]—
独・仏・西・露・中—

ルソーにおける孤独と共同体—『社会契約論』から『孤独な散歩者』へ—	松本勤	1
ホフマンスタール訳エウソピデス「アルケステイス」について	竹部琳昌	36
Metalinguistik について	河野収	67
アマードとブラジル北東部	神代修	89
ルーゼンについて	清水邦生	113
LES DEUX BONZILLONS—仏訳・谷崎潤一郎「二人の稚児」—	店村新次訳	137

資料

ラ・セレスティナ	フェルナンド・デ・ローハス 大島正訳	149
Synopses		168

第100号 (1967年12月) [文化学科特集]

徂徠と葉水心との間—島田虔次氏の『朱子学と陽明学』にこたえて—	今中寛司	1
信貴山縁起絵巻と鳥羽僧正覚猷の問題	笠井昌昭	20
[Synopses]		(68)1

第101号 (1968年3月) [外国語・外国文学研究特集19]—

	独・仏・西・露・中—	
テーレマユスの「奮起」α	319—444	松本仁助 1
カール・ゲオルク・フォン・マーゼンのこと		前川道介 27
ブレヒト『真実を書くさいの五つの困難』とその若干の波紋		近藤公一 44
喜劇『知恵の悲しみ』におけるチャーツキーの闘い		清水邦生 63
資料		
ラ・セレスティオ(2)		大島正訳 83
「書経」の成立ちについて—墨子と孟子の演じた役割り—		吉田恵 103
Synopses		121

第102号 (1968年4月) [英語英文学研究特集29]

Emily Brontë; Wuthering Heights 研究に寄せて		太田藤一郎 1
Emily Brontë, Wuthering Heights 研究		
神不在の性格—Heathcliff と Catherine—		太田藤一郎 2
Tragic Hero としての Heathcliff		赤木雅吾 24
「罪」の問題について		浜田公一 50
Emily Brontë の異端		松村昌家 71
エマソンにおける自然と経験—『自然論』解釈—		樋口秀雄 98
英語教育とその適齢期		福本一 118
Synopses		153
同志社大学英語英文学研究会		164

第103号 (1968年4月) [社会学科特集]

論 説

- ナポレオンと新聞の自由—ジョゼフ・フィエヴェのこと— 城戸 又 一 1
- 政治社会とエリート 間場 寿 一 19
- 「朝日訴訟」—総括—最高裁判決の論点— 小倉 襄 二 38
- 主婦の生活構造と意識—西陣機業地の場合— 宮城 宏 59

資 料

- 滋賀県、草津市木ノ川新田地区における社会福祉実態調査
部落福祉研究グループ 93

書 評

- 高梨昌「日本鉄鋼業の労使関係」 角田 豊 131
- 1967年度社会学科研究室彙報 139

第104号 (1968年5月) [文化学科特集]

- コンフリクト強度と欲求の種類—連想語再生実験と EPPS を用い
て— 浜 治 世 1
- SD法からみた日本の1大学学生の民族偏見 秋田 清 10
- The New England experience of nineteenth century Japanese
students and scholars Otis CARY 39
- [Synopses] 51

第105号 (1968年5月) [英語英文学研究特集30]

- ポープの抒情詩—愛と死について— 岩崎 泰 男 1
- F. R. Leavis の Dickens 評をめぐって 松村 昌 家 20
- Mark Twain の手法と *The Mysterious Stranger*
那須 頰 雅 35
- 政治諷刺と anarchism—*MacBird!* の場合— 宮井 敏 49

Particle の品詞性とその frequency	滝野 徳三郎	64
修辞と表現—Emphasis について—	戸川 晴之	85
Japanese Passive and Causative Constructions	Teruhiro Ishiguro	119
[Synopses]		137
同志社大学英語英文学研究会		147

第106号 (1968年8月) [外国語・外国文学研究特集(20)]—
独・仏・西・露・中—

シュティフターの「あわれな慈善家」(Der arme Wohltäter)とグ リルバルツァーの「あわれな音楽師」(Der arme Spielmann)	本岡 五男	1
トーマス・マンの「トリスタン」—トーマス・マンのワーグナー体 験(1)—	土田 修代	20
研究ノート		
ハシエク伝の問題点およびチェコにおける『シュベイク』解釈史に ついて	土肥 美夫	40
資料		
朱子全書にみえる宗時代の口語(1)	Gerty Kallgren 大原 信一 訳	58
ラ・セレスティナ(3)	フェルナンド・デ・ローハス 大島 正 訳	89
明治・大正・昭和・バルザック作品邦訳書目(その一)	原 政夫	105
[Synopses]		118

第107号 (1969年1月) [文化学科特集]

ニュートンにおける自然研究とその「科学革命」的意義	中 桐 大 有	1
北野天神根本縁起成立の周辺(序説)	笠 井 昌 昭	17

不安動因と筋肉緊張動因の刺激般化に及ぼす効果	松山義則	(86)1
精神分裂病者と神経症者におけるコンフリクト耐性		
	浜治世	(69)18
数字2文字刺激に対する数字1字連想	秋田清	(61)26
Synopses		(46)41

第108号 (1968年12月) [英語英文学研究特集31]

W. Alabaster のソネットと反宗教改革	坂本完春	1
Whitman の禪的考察	谷口敏郎	28
紹介		
アナトール・ラポポートのコミュニケーション論	大志万一徳	46
The Romance vocabulary of Chaucer's translation of Boethius's <i>De Consolatione Philosophiae</i>	Akio Oizumi	57
[Synopses]		79
同志社大学英語英文学研究会		83

第109号 (1968年11月) [社会学科特集]

論説		
西陣機業者の地域生活—とくに西陣機業を規定する地域生活の特質 について—	松本通晴	1
西陣における賃機労働者の性格とその実態(1)—労働市場論的アプローチ—	三塚武男	32
大阪における鉄鋼業の労働災害 研究ノート	辻村一郎	73
ドイツ新聞学の受容をめぐって	和田洋一	106
書評		
宮本憲一著『社会資本論』	小倉襄二	114

第110号 (1969年3月) [外国語・外国文学研究特集(21)]		
一独・仏・西・露・中一		
テレーマコスの「駆け引き」β 209—223	松本仁助	1
B. プレヒト『コーカサスの白墨の輪』についての若干の問題	近藤公一	27
研究ノート		
訓話一篇—「国風」の「伐檀」について(上)	吉田 恵	43
資料		
朱子全書にみえる宗時代の口語(2)	Gerty Kallaren 大原信一訳	56
ラ・セレスティナ(4)	フェルナンド・デ・ローハス 大島 正訳	86
明治・大正・昭和バルザック作品邦訳書目(その2)	原 政夫	108
「人文学」第21号～第106号—「外国語・外国文学研究特集」(1)～ (20)所載「論説」「研究ノート」「資料」目次(1956年1月～1968年 8月)		123
Synopses		131

第111号 (1969年3月) [英語英文学研究特集32]		
現代の <i>King Lear</i> その(2)—Maynard Mack の『リア王』論—	井川 ぶく	1
1 <i>Henry IV</i> : Prince Hal について	金城 盛紀	22
Iris Murdoch の <i>The Bell</i> における愛の観念について	岩崎 靖子	37
書評		
Elizabeth Taylor: <i>The Wedding Group</i> (Chatto & Windus, London, 1968) pp. 230	宮井 敏	57
<i>The Homecoming</i> —Harold Pinter ノート—	由本 新	60

The Romance vocabulary of Chaucer's translation of Boethius's De Consolatione Philosophiae (II)	Akio Oizumi	64
[Synopses]		96
同志社大学英語英文学研究会		103

第112号 (1969年5月) [文化学科特集]

ゴシック会堂の光	勝 國 興	1
北野天神根本縁起詞書校刊(上)—北野天神根本縁起成立の周辺(序 説)のうち—	笠 井 昌 昭	22
自己認識の論理(上)—ギュスドルフの所論をめぐって—	片 山 寿 昭	63
[Synopses]		(84)1

第113号 (1969年8月) [外国語・外国文学研究特集(2)]

ボルノウの「気分の本質」について	梶 嘉一郎	1
リルケー—セザンヌの芸術との出会い 研究ノート	稲 田 伊久穂	15
ドイツにおける世紀末芸術—表現主義芸術運動の歴史的背景とし て—	土 肥 美 夫	34
資 料		
セレスティナ(5)	フェルナンド・デ・ローハス 大 島 正 訳	66
Synopses		80

第114号 (1969年12月) [社会学科特集]

論 説		
医療社会事業の性格と機能	住 谷 馨	1
「マーケティング・コミュニケーション」について—概念の検討と その批判—	北 村 日出夫	18

西陣における賃機労働者の性格とその実態(2)—労働市場論的アプローチ—	三塚武男	33
研究ノート		

シビル・ミニマムと社会福祉政策への試論—I——「東京都中期計画—1968年」について	小倉襄二	59
書評		

Edmund W. Vaz “Middle-Class Juvenile Delinquency”—中流階級少年非行問題への探求—	井垣章二	66
---	------	----

第115号 (1969年10月) [英語・英文学研究特集33]

Malory における Courtly Love—Lancelot の曲折した愛について—	長沢宏江	1
---	------	---

<i>Great Expectations</i> : 幻滅のパターン	松村昌家	25
-------------------------------------	------	----

The Octoroon の一考察—黒人問題劇としての観点より—	近田小一	40
----------------------------------	------	----

日本語と英語における母音の長さの諸問題	岡田妙	68
---------------------	-----	----

William Carlos Williams, <i>Paterson</i> , Book III Paradox of Descent and Ascent	Yasuko Shiojiri	85
---	-----------------	----

Synopses		121
----------	--	-----

同志社大学英語英文学研究会		125
---------------	--	-----

第116号 (1970年6月) [外国語・外国文学研究特集23]

マルタン・デュ・ガールの作品系列に関する一試論—おもに傍系的・中間的作品群を中心として—	店村新次	1
--	------	---

アヌイの「アンチゴヌ」における問題性	竹部琳昌	37
研究ノート		

ヒルデスハイマー覚書—欠落の比喩は可能か—	近藤公一	81
-----------------------	------	----

ドイツ表現主義美術のための序章	土肥美夫	94
-----------------	------	----

資料

ラ・セレスティナ(6)	フェルナンド・デ・ローハス 大島 正 訳	108
-------------	-------------------------	-----

[Synopses]		132
------------	--	-----

第117号 (1970年7月) [社会学科特集]

論 説

アメリカのマス・コミュニケーション研究の—批判—ベレルソンと クラッパーの場合—	北 村 日出夫	1
ILOと安全衛生基準	角 田 豊	22
体系としての政治	間 場 寿 一	39
研究ノート		
シビル・ミニマムと社会福祉政策への試論Ⅱ『東京都中期計画— 1968年』について	小 倉 襄 二	54
書 評		
NHK放送学研究室編『放送学序説』	和 田 洋 一	65
1968年度 1969年度社会学研究室彙報		69

第118号 (1970年7月) [英語英文学研究特集34]

十八世紀の英国における儒家思想の運命	岩 崎 泰 男	1
Stephen Dedalus と Esthetics(その I)— <i>A Portrait of the Artist as a Young Man</i> から <i>Ulysses</i> へ—	中 村 春 次	23
Caldwell における sex について— <i>God's Little Acre</i> を中心に—	清 水 裕	38
Audio-lingual Reading の指導と LL	渥 美 正 平	59
<i>Milton's The Ready and Easy Way to Establish a Free Com- monwealth</i> —A TRAGEDY—	Yasuko SHIOJIRI	86
Synopses		116

同志社大学英語英文学研究会 120

第119号 (1970年3月) [文化学科特集]

現代と近代・西洋と東洋—比較文化史の一考察—	今中寛司	1
巨勢派系図について	笠井昌昭	22
自我と愛—前篇— (ヨーロッパ・インド・中国・ヘブライ・日本の場合)	波多野鹿之助	56
コンフリクトと言語条件づけ	浜治世 (116)	1
認知における最適IMT強度	岡市広成 (102)	15
Synopses		(85)32

第120号 (1973年7月) [総目次]

はじめに	木村俊夫	1
凡例		5
『人文学』第1号～第120号刊行一覧		7
『人文学』第1号～第120号総目次		13
『人文学』第1号～第120号執筆者索引		61